

# スマスイ・サイエンスカフェ



採算度外視で、この10年間に60回！大水槽を背景にした幻想的な雰囲気と分かりやすくかつ最新の知見も盛り込んだ講演はアカデミックな水族館の柱のひとつでした。



## 淡水ガメ保護研究施設「亀楽園」



アカミミガメ問題を世の中に広める大きなきっかけとなった亀楽園。

2000年ごろから爬虫類学者の中でも在来の生態系を保全するためのアカミミガメ駆除の必要性が議論されるようになりました。しかし、殺処分による駆除には抵抗があり、対策は進みません。解決するには生きたまま収容する施設を作るしかありませんが、どこがその施設を作り、維持管理をしていくのかが大きな問題でした。

そこで、スマスイでは付近の自然からアカミミガメを少しでも減らし、市民にこの問題を伝え、それを解決するための議論を醸成するため、「亀楽園」を2010年8月に設置しました。野外で捕獲したアカミミガメ1匹で当日入園券1枚を提供「アカミミガメパスポート」のインパクトもあり、マスコミにもさかんに取り上げてもらいました。マスコミが動くと行政も動き、各地の自治体、さらには環境省も動き始め、亀楽園の設置が現在の日本のアカミミガメ対策の基盤を作ったと感じています。